

佐渡裕 指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ 演奏会

# レスピーギ ローマ三部作

光り輝く  
ブラスの響きで  
悠久の都  
栄光のローマへ!

レスピーギ作曲：  
交響詩

ローマの祭り  
ローマの噴水  
ローマの松

※演奏楽編曲版

他

# 佐渡×シエナ

## 《ブラスの祭典★2023》

Sado: ©Takashi Iijima  
Siena: ©Hikaru T.



2023年 **11月3日** 金祝 16:00開演 [15:30開場]

## バロー文化ホール (多治見市文化会館)大ホール

チケット発売日 8月26日(土) インターネット7:00 ~ 電話9:00 ~

※初日はお一人様4枚までのご購入となります ※初日の窓口販売は行いません

料金(全席指定) **S席 ¥7,500** **A席 ¥6,000** **B席 ¥3,000**

当公演は助成により子ども招待を行っております

主催: 多治見市文化会館 助成: 文化庁 劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業

制作: クリスタル・アーツ



文化庁  
劇場・音楽堂等の  
子供鑑賞体験支援事業

プレイガイド

◆ チケットONLINE [tajimi-bunka.or.jp/bunka/](http://tajimi-bunka.or.jp/bunka/)

◆ バロー文化ホール 0572-23-2600

公演に関する問合せ先

バロー文化ホール(多治見市文化会館) 0572-23-2600

〒507-0039 多治見市十九田町2-8 9:00 ~ 21:30 火曜休館・祝日を除く

アクセス

【鉄道】 JR中央線多治見駅(名古屋より快速で40分)北口から徒歩12分  
改札を出て左折し、北口エスカレータを下りてください。線路を背にして800m直進します。  
精華小学校を過ぎ、国道19号線手前の右方面が「バロー文化ホール」です。

【自動車】 中央自動車道「多治見」J.C.より約10分/東海環状自動車道「土岐南多治見」J.C.より約15分  
※駐車台数に限りがございます(200台収容可能)。

満車の場合は、駅北立体駐車場をご利用ください。

公演当日に限り2時間無料サービスを実施します。

駐車券をバロー文化ホール事務所へご提示ください。

※未就学児のご入場はご遠慮ください

# 佐渡裕 指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ 演奏会 《ブラスの祭典2023》

## レスピーギ【ローマ三部作】

イタリア・ボローニャ出身のオットリーノ・レスピーギ(1879～1936)は、リムスキー＝コルサコフに管弦楽法を学び、更にイタリア古楽を熱心に研究しました。また民謡やキリスト教典礼音楽にも造詣が深く、唯一無二の作曲技法をもつ作曲家です。代表作【ローマ三部作】と呼ばれる《ローマの祭り》、《ローマの噴水》、《ローマの松》では、彼の作曲技術が最大限に発揮され、古代ローマからレスピーギの時代に至るまでの悠久のローマを、壮大な物語絵巻として鮮やかに描き出しています。

【ローマ三部作】は元々オーケストラ作品ですが、管楽器が大活躍しているため、吹奏楽編曲版もオリジナルと遜色ない迫力ある演奏をお楽しみいただけます。ローマの鮮やかな色彩、人々の熱気、ほとばしる水しぶき、勇ましいローマ軍など、きらきら輝くブラスの音色と躍動感あふれるアンサンブルは聴きごたえ抜群！特に《祭り》と《松》では、「バンド」と呼ばれるオーケストラとは別働隊の、舞台外から演奏する金管楽器群が効果的に使われ、客席に降り注ぐ大音量と合わせ、視覚的にも大いに楽しませてくれます。

佐渡×シエナによる白熱の演奏を、どうぞご期待ください！

### 交響詩

#### 『ローマの祭り』

古代ローマ、ロマネスク、ルネサンス、近世、というローマの4つの時代の祝祭を巡り、そこに生きた人々たちのリアルな姿を描く。

### 交響詩

#### 『ローマの噴水』

ローマ市内にある4つの噴水をモチーフに、夜明け、朝、真昼、黄昏、という時間の美しい情景が印象的に表現される。

### 交響詩

#### 『ローマの松』

何世紀にもわたるローマの“歴史の証人”となっている松の姿を通じ、古代ローマへの郷愁や幻想、そして栄光を讃美する、壮大な曲。



### 佐渡裕(首席指揮者)

YUTAKA SADO, conductor

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルンWDR交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団など、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。現在はオーストリアで110年以上の歴史を持つトーンクンストラ管弦楽団の音楽監督を務め、欧州の拠点をウィーンに置いて活動している。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者を務める。CDリリースは多数あり、大ヒット作の「ブラスの祭典」シリーズや、シエナと12年ぶりに録音した「バーンズ：交響曲第3番」(2022年6月発売、エイベックス)などがある。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫/新書)などがある。

2023年4月より新日本フィルハーモニー交響楽団第5代音楽監督に就任。

オフィシャルファンサイト：<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



### シエナ・ウインド・オーケストラ

SIENA WIND ORCHESTRA

1990年に吹奏楽の可能性を追求すべく結成されたプロフェッショナルのウインド・オーケストラ。現在、文京シビックホールを拠点とし、定期演奏会のほか全国各地での依頼公演や文化庁学校巡回公演等の青少年育成事業への出演、多様なアンサンブルユニットによる公演や吹奏楽クリニック等、年間100回を超える事業を展開している。

2002年には首席指揮者に佐渡裕を迎え、毎年全国ツアーを行うほか、最近では飯森範親、宮川彬良、青島広志など多彩な指揮者を客演に迎え、幅広いレパートリーを生かした活動を広げている。2017年には挟間美帆をコンポーザー・イン・レジデンスに迎え、吹奏楽作品の普及にも取り組んでいる。2010年10月から東京都文京区および文京シビックホールとの事業提携を皮切りに、各地の大学や自治体との提携を増やしており、地域や教育機関と密着した活動にも積極的に取り組んでいる。CD・DVDも多数リリース。近年ではエイベックスから「佐渡×シエナ バーンズ：交響曲第3番」「ブラスの祭典BEST」、その他各社より「ファイナルファンタジーVII×ブラバン!!」、「ブラバン・ティズニー!～シエナ・スタイル～」など、いずれも大きな話題を呼んでいる。

オフィシャルHP <http://sienawind.com/>